

第 1 章

長野市下水道 10 年ビジョン

改訂の趣旨と位置付け

-
- 1 改訂の趣旨
 - 2 位置付け
-

第1章 長野市下水道10年ビジョン改訂の趣旨と位置付け

1 改訂の趣旨

「長野市下水道※10年ビジョン」は、平成23年3月に「暮らしと水環境を向上させる長野市の下水道」を将来像として掲げ、全戸水洗化へ向けた施設整備を中心に、平成32年度までの10年間の本市下水道事業の基本計画として策定し、基本施策として定めた「下水道の普及促進」「安全・安心な下水道」「環境保全に配慮した下水道」「下水道の施設再生」及び「健全な下水道経営・施設の適正な管理」の5項目の実現を目指してきました。策定から5年が経過し、人口普及率は平成27年度末に97.3%に達し、また、平成24年度からは長寿命化※及び地震対策事業に着手するなど、施設整備から管理運営に軸足を移す時機を迎えています。

このような中、国は「持続的発展が可能な社会の構築に貢献する」ことを下水道の使命と位置付け、平成26年に「新下水道ビジョン」を策定、平成27年には下水道法を改正し、持続可能な事業運営のための施策を示しました。

そこで、ビジョンの各施策の進捗状況を精査し、新たな課題を整理するなど見直しを行い、下水道施設全体を対象とする改築更新計画（ストックマネジメント※計画）を策定し、耐震化を考慮した改築更新や維持管理の方針を定め、事業計画及び経営戦略※に基づき、50年後を見据えた持続可能な経営を行うため、長野市下水道10年ビジョンを改訂し、新たな将来像と施策を示すこととしました。

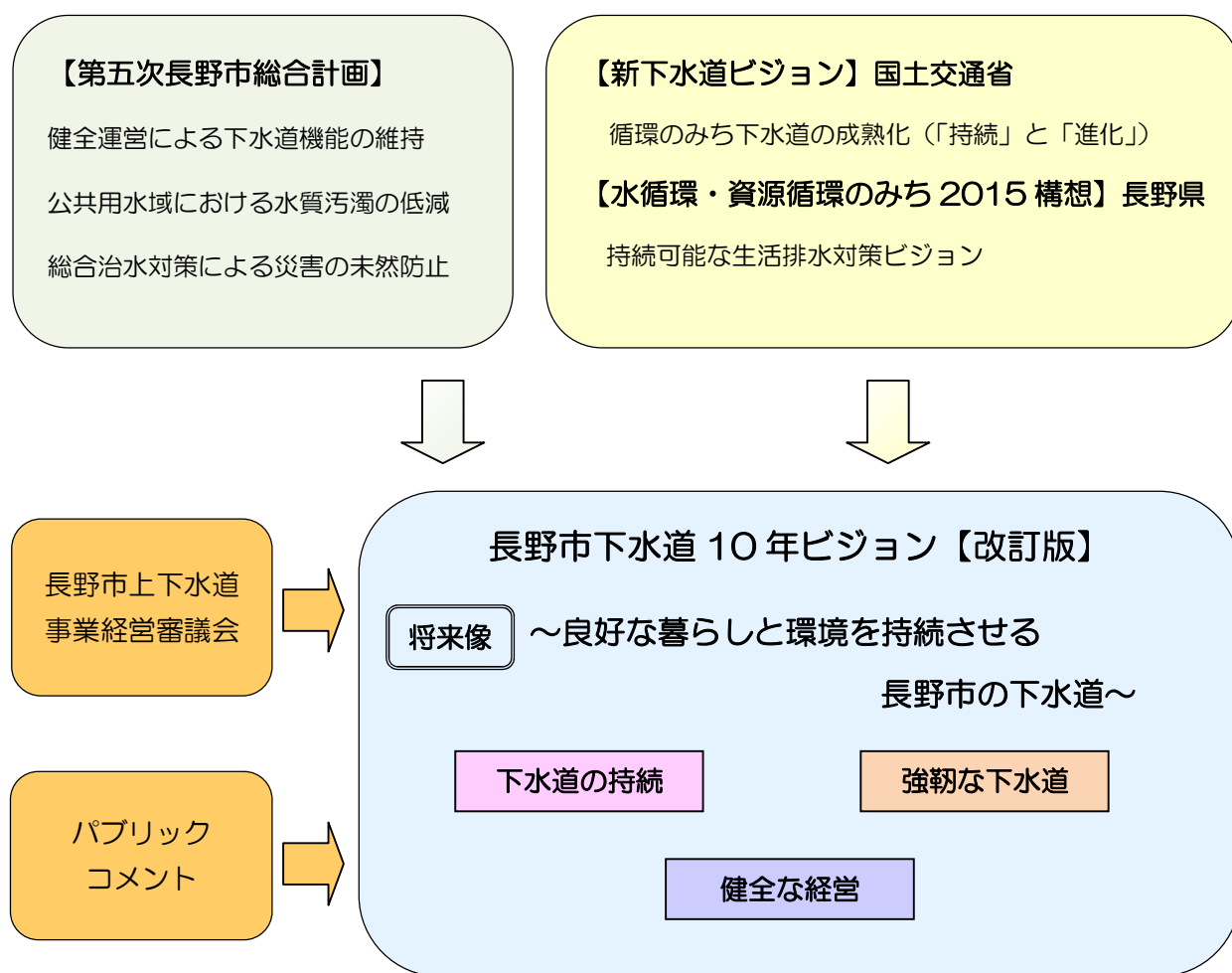


東部浄化センター 管理本館

注）本文中に※を付した用語は、「下水道用語の解説」に掲載しています。

2 位置付け

「長野市下水道 10 年ビジョン【改訂版】」は、本市の下水道事業の今後 10 カ年（平成 29～38 年度）の基本計画と位置付けます。本ビジョンは、上位計画である「第五次長野市総合計画」の施策を反映し、国土交通省の「新下水道ビジョン」及び長野県の「水循環・資源循環のみち 2015 構想」の考え方に基づき改訂しました。





リンゴをモチーフにした
デザインマンホール蓋
旧長野市



大会シンボルをモチーフに
したデザインマンホール蓋
オリンピック施設



リンゴとぶどうをモチーフ
にしたデザインマンホール蓋
旧豊野町



戸隠山、鏡池、シジウカラ、
白樺をモチーフにしたデザイン
マンホール蓋
旧戸隠村



奥裾花溪谷と水芭蕉をモチーフ
にしたデザインマンホール蓋
旧鬼無里村



羊とわさびをモチーフにした
デザインマンホール蓋
旧信州新町



梅の花とケヤキをモチーフに
したデザインマンホール蓋
旧中条村